

杵築大社近郷絵図 複製

島根県古代文化センター

県指定文化財

古文書・複製



出雲大社はかつて杵築大社と呼ばれました。この付近は、弥生時代からすでに祭祀が行われており、大社特有のひとときわ高く大きな神殿の由来は、『日本書紀』や『古事記』、『風土記』など古代の書物にも記され、平安時代には、日本一の高さを誇る建築物として広く知られていました。大社境内遺跡で見つかった巨大柱は平安時代末頃のものと考えられます。神殿の高さや境内の雰囲気は時代とともに変化しました。鎌倉時代の出雲大社并神郷図では、朱塗りの柱であったり、江戸時代初めの杵築大社近郷絵図には、三重塔・鐘楼などもあり仏教色もみられます。そして、現在のような姿になったのは江戸時代に入ってからのことです。

KYOTO KAGAKU CO.,LTD
Preservation and Restoration of Cultural Property

tel.075-605-2510
fax 075-605-2519
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

<http://www.kyotokagaku.com/jp>
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp